

# 酒々井町郷土研究会々報

第28号

昭和58年4月1日  
酒々井町郷土研究会  
総務部

## 中川の草分け

相京晴次

### 現況

酒々井町の人口はここ数年で急激に増加しつつある。昭和五十一年の国勢調査時の世帯数は、二一四一、人口は八四六三人であったが、本年三月一日現在の世帯数は四四七五、人口一六三七〇人と約倍増となっている。

そこで吾が中川区についてみる。中川の現在(三月一日)の世帯数は一六四、人口は男二四三人、女二三九人計四八二人となつてゐる。中央台一丁目の大部分は、中川区の字下目、荻原、荻原谷津であつたから、これに加えると中川も人口急増地区となる。中川のお墨自慢は京成酒々井駅の近在地として、交通に最も恵まれてゐることもあり、大部分が市街化区域に指定されてい

るので将来とも人口増加の要素をもつてゐる。

### 草分け

「草分け」とは、広辞苑によると「はじめに荒蕪の地を開墾した人」とある。中川の草分けは青木家系図(青木恒夫家所蔵)によると千葉氏一族、大須賀氏の流れをくむ、青木氏などが天正十八年、千葉氏滅亡とともに主家を失ひ、千葉氏時代には大台山(東酒々井三丁五丁目)に居住してゐたが中川に移住して開墾した六家が中川の草分けとしてゐる。

青木清右衛門、木内清兵衛、岡田新右衛門、伊藤権左衛門、青木平兵衛、石渡七右衛門の九家がそれであつたとへう。

この六家は中川に移住し、西蔵院を創建し水神社を勧請して中川の基礎を築いたのであるが、印旛沼の氾濫による水害と闘

いながら苦難の道を歩んだことが想像される。

江戸時代の中川村の石高は百二十九石余と小さい村であつた。そして、草分け六家の本家分家ばかりで占められており、他姓の人が入つた形跡がないのも珍らしいことである。

明治七年の中川村の戸籍簿によると、三十四戸が記されてゐるが、西蔵院の住職以外は他姓がない。

青木九、岡田七、木内五、伊藤七、石渡六となつてゐる。

現在もこの五姓が四十七家と極めて多い。五姓の内わけは、青木十四、岡田八、木内九、伊藤十一、石渡五である。(電話帳)

中川のこの五姓は草分け以後三九〇余年後の現在も益々根を張り祖先の根據地に居住してゐることになる。(参考、青木朝次氏の「中川のおゆみ」)

## 見学会吟詠

上本佐倉

勝木康弘

三月十日 終日雨

春夜雨強きまきりて  
あすか旅

三月十一日 一転快晴

旅好きの妻がそぶりの春の朝  
旅出する木更津の旅

役場着

幾人が知りえし顔の見えあつて  
心はずませ車乗イニむ

発車

春日し 上衣脱ぎだす快走車  
菓子餅く袋の音が春の旅

春の旅釣り七友思ふ養老川  
梅満開 吾等迎ふる長楽寺

春寒むや寝にきまれる大師堂  
願ひぬめ天衣なびかせぬやかに

高おわします救世観音

経流寺の奥様合し明治の健人  
虎月ゆかりの原田さんとの春会

井村紫乃さんの早や十句作など  
伺ひ昼食終る。食後観世音の

胎内登頂、東京湾を一望。さう  
に富津公園にいたる。

汐の香に故郷恋心小春が海  
帰車談声絶えて皆寝。破夢一

声の小休憩。一首下車。御婦人の  
土産物購ひいと天なり。

謝辞、下車、帰宅、旅談の多食  
早寝樂す。今後ともよろしく  
お願いいたします。



ナンバードワン物語

(二)

A 生

面積と人口

酒々井町の面積は一九・二三平方キロメートル、人口は一六、三四八人(三月一日現在)

その地区別に面積と人口を分析してみました。

まず面積の広い方のナンバードワンは上岩橋区の二七四、五ヘクタール、二位は墨区の一三三、九ヘクタール、三位は伊藤区の一九〇、八ヘクタールとなっております。次に屋上区、李佐倉区、馬橋区と続きます。

酒々井区は以前は三位でありましたが、東酒々井と中央台に分割されて大中にダウンしてあります。

狭い方のナンバードワンは下台の二三、三ヘクタール、中川の二四、一ヘクタール、三位は今倉新田となっております。人口は断然、東酒々井の五、七五〇人、中央台二、六八八人で次は上岩橋区の一、六六七人となっております。

永子トップであった酒々井区は一、五二一人の四位、五位は上李佐倉区の一、三二一人であります(三月一日現在)

ちなみに明治三十二年、酒々井町成立時の人口は、三、六四四人、地区別にみると、ナンバードワンは酒々井区の七四五人、上李佐倉は五二五人、三位の上岩橋五二〇人と比べて、昔宿場の面影がありました。現在は崩壊と交通の影響で大巾に変わりつつあります。



新会員紹介

氏名	地区	氏名	地区
353 家山ヨシ子		369 高田和子	
354 朝倉房子		370 朝増つぎ	
355 池田加直		371 田中美代子	
356 小畑ふみ子		372 古川綾子	
357 行武美代子		373 斎藤けい	
358 住田京子		374 高橋継子	
359 古山順		375 石井あさ	
360 斎藤とし		376 山本延子	
361 河合たけ		377 小島よし枝	
362 松井勝代		378 二宮敬子	
363 清水良子		379 阿尾栄子	
364 大竹ミツイ		380 綿貫光子	
365 牧野ハルイ		381 新井孝三郎	
366 徳野すゑ		382 佐瀬きい子	
367 清水すゑ		383 綿貫かね	
368 愛甲美栄子		384 国本知子	

総会記

郷土研究会の五十八年度定時総会は一月二十五日中央公民館で開催され、出席者百二十余名により、昭和五十七年度事業報告、同決算報告書が承認され、さらに五十八年度事業計画書、同予算書が議決された後、役員改選が行われて、別記の役員が選任されました。議事終了後、会員有志による演芸発表会があり、盛會裡に無事終了いたしました。

難読地名 (三)

中央台 室賀淳吉

成田市

千葉市

松崎 (まんがき)

犢橋 (こてはし)

取香 (とつこう)

坂尾 (さんご)

赤坂 (あきざ)

園生 (そののう)

佐倉市

先崎 (まつさき)

登戸 (のぶと)

神門 (じんもん)

矢作 (やはぎ)

初参加

上本佐倉

勝木康弘

土地人にとけこまなんの思い始め  
見学旅行に妻と参ずる

おんな人おろしたつたびにメモるる、  
しるしのあとぞしきりと氣にならん

十兵衛城

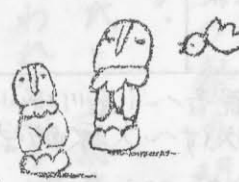
わが祖父の供養と定め月日かけ  
築きあげける十兵衛城

布施の弁天

しおらしく頭さげつ、人並に  
家内安全 布施が弁天

目秀観音  
ここにきて首まげがまに見入らんは  
かなしき人さがただに身にしむ

土地により人が評価のちがいがま  
かなしきまでに示す地蔵尊



郷土研究会 58, 59 年度役員

58 年 1 月 25 日 改選

役名	氏名	住所	TEL	役名	氏名	住所	TEL
会長	相末 晴次		2351	運営委員	増川 寿子		3017
副会長	木内 忠治郎		1529		小別当 光		3905
	沖田 善三郎		1295		吉松 みつ江		4811
	金杉 智恵		1288		白石 栄子		2769
監事	福田 豊吉		0798		松尾 睦子		5763
	会田 秀雄		4861		田中 裕美		5900
会計	河合 昭男		1171		室賀 淳吉		0971
運営委員	押尾 克巳		2839		木村 幸子		7467
	石渡 朝次郎		2192		青木 朝次		0686
	田村 直子		0708		白石 正雄		0731
	蒔 玉子		4367		岡田 文子		0185
	中村 寛		1791		福田 富蔵		3865
	御厨 禹一		0694		福田 せつ		2819
	鶴岡 知子		1015		木村 とし子		0967
	上田 悦子		5707		古川 今子		2377
	藤崎 房枝		1473		富沢 勝		0393
	石渡 一郎		0767		相京 正明		0029
	子安 とよ		3551		川島 重利		2572
	京増 忠太郎		0376		吉岡 一雄		4332
	藤川 正美		0280		寒郡 義一		4352
	中野 敏子		5481				

## 第2.4半期 行事案内

	四 月	五 月	六 月
古文書 学習会	9日(土) 午後1時30分 中央公民館	7日(土) 午後1時30分 中央公民館	11日(土) 午後1時30分 中央公民館
石佛・神社 調査	10日(日) 午前9時 中央公民館集合 (雨天中止)	8日(日) 午前9時 中央公民館集合 (雨天中止)	12日(日) 午前9時 中央公民館集合 (雨天中止)
野草の会	23日(土) 午前11時 山菜を食べる会 会費500円 先着50名 中央公民館 申込受付 4月5日午前9時以後	3日(火) 憲法発布記念日 午後1時 嘉蔵酒州駅集合 統倉宮小路、武家屋敷 木村家、大藤観音外 雨天代替 5日(水)	19日 午前9時 町内史跡めぐりと合流
県内 見学会	6月7日(火) A班 6月10日(金) B班 会費1,000円(昼食代共) 各38名	見学地—滑河観音—小見川城山公園— 麻生吹付—大塚西学遺跡 役場 午前8時30分迄 申込受付 4月5日午前9時以後	
町内史跡 めぐり ハイキング	6月19日(日) コース—上岩橋貝層—本匠倉城跡—将門神社 (教委共催) 午前9時 中央公民館集合 弁当持参の比 9時20分 青年研修所出発		雨天代替 6月26日(日)
文化財 愛護	4月16日(土) 午後1時 中央公民館集合 墨のさらしなほま郷生地、草外 雨天中止 代替 4月24日(日) 午後実施	午後1時30分 善六所神社集合	

### 郷土研日誌

1月20日	総会準備役員会	出席者 20名
1月25日	58年度定時総会	" 120名
2月6日	石佛調査、大崎・上郷地区	参加者 9名
2月12日	古文書学習会	出席者 10名
2月13日	文化財愛護活動、午前上岩橋貝層横穴古墳 午後、伊藤松並木柵木焼却傾斜矯正	参加者 29名 参加者 26名
2月19日	七草かゆを食べる会	参加者 63名
3月8日	木更津・富津方面見学会 A班	参加者 25名
3月11日	" B班	" 38名
3月15日	" C班	" 40名
3月6日	石佛調査	参加者 7名
3月12日	古文書学習会	" 9名
3月18日	運営委員会 第2.4半期事業計画外	" 19名
3月19日	野草の会 志津方面	" 24名

### 行事会計報告

2月19日	七草かゆを食べる会
収入	会費 500 <sup>円</sup> × 66 = 33,000 <sup>円</sup>
支出	材料費 26,985 <sup>円</sup>
	差引残 6,015 <sup>円</sup>
	差引残 4,515 <sup>円</sup> 郷土研繰入れ
3月8日、11日、15日	A、B、C班
	木更津・富津方面見学会
収入	会費3回計 1,000 <sup>円</sup> × 103 = 103,000 <sup>円</sup>
支出	雑当代 540 <sup>円</sup> × 30 = 16,200 <sup>円</sup>
	昼食代 700 <sup>円</sup> × 81 = 56,700 <sup>円</sup>
	長樂寺灯明料 500 <sup>円</sup> × 3 = 1,500 <sup>円</sup>
	駐車料 70 <sup>円</sup> × 9 = 630 <sup>円</sup>
	バ交代 24,000 <sup>円</sup>
	計 114,000 <sup>円</sup>
	差引不足 11,000 <sup>円</sup> 郷土研の支出

※ 申込やお問い合わせは、96-1171 町史編纂室相原又は教育委員会まで